

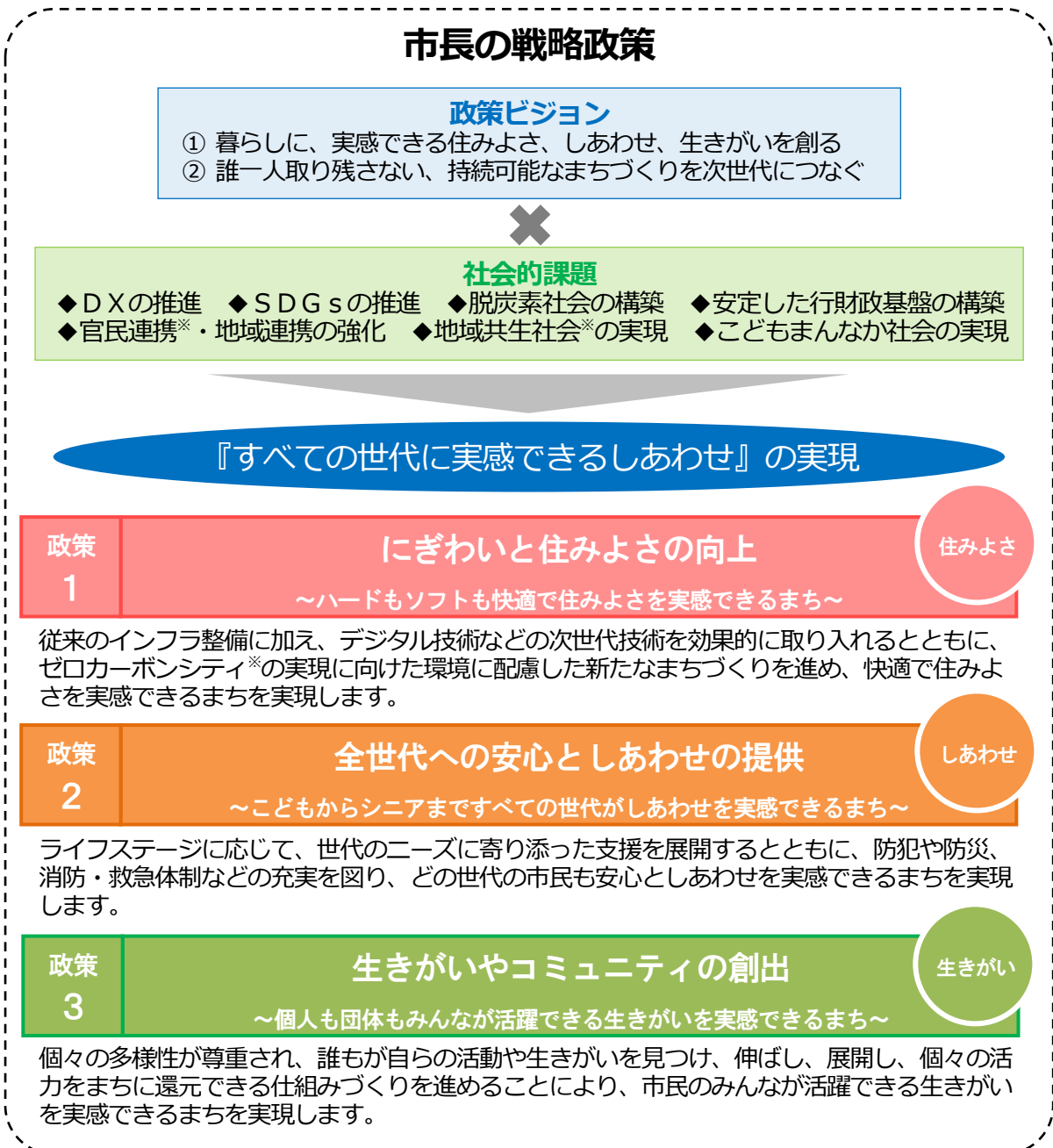
第3節 市長の戦略政策

1 基本的な考え方

市長の戦略政策は、『すべての世代に実感できるしあわせ』を届けるための政策として、分野を超えた戦略的な事業実施に取り組みます。

これにより、江南市に暮らすすべての人が住みよさ、しあわせ、生きがいを実感でき、“明日が今日より楽しい一日”になるような暮らしの実現と、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを進め、次世代につないでいくことをめざします。

また、各政策に取り組む上で、現代社会において取り組まなければならない様々な課題（DX※の推進、脱炭素社会の構築、パートナーシップ（連携）の強化など）にも確実に対応し、市長の戦略政策として3つの政策を掲げ、各政策において戦略プロジェクトを位置づけ、重点的・優先的に事業実施に取り組みます。



2 ライフステージから見る市長の戦略政策 ～こども・若者・働く世代・シニア～

市長の戦略政策では、江南市に暮らすすべての人が住みよさの実感、しあわせの実感、生きがいの実感ができるようにライフステージに応じた豊かで穏やかな暮らしの実現をめざします。

未来への希望となるこどもに対しては、保育園や学校施設をはじめとしたこどもの居場所の充実や、こどもの悩みに寄り添うきめ細やかな支援により、健やかに育っていける環境をつくります。

次世代を担うパワーである若者に対しては、若者の社会参加や経済面での支援を行い、若者が全力でやりたいことができるよう、若者の夢を応援します。

地域を支える原動力である働く世代に対しては、新工業用地整備による就労機会の確保や子育てにおける負担軽減などに取り組み、働く世代にゆとりを届けます。

まちの財産であるシニアに対しては、住み慣れた地域で生活するための支援の充実や、デジタルの活用支援などを進め、生きがいをもてる健康長寿の暮らしを支援します。

【ライフステージ別から見る市長の戦略政策の概要】

| | 市長の想い | 市長の戦略政策 |
|------|--|--|
| こども | こどもは未来への希望です。 こどもの個性や多様性を伸ばし、悩みに寄り添います。 こどもがのびのびと遊び、学び、家庭環境に左右されることなく、大きく育っていける環境をつくります。 | <ul style="list-style-type: none"> こども関係施設の利便性向上（政策2-1） オーガニック給食の提供（政策2-2） 学童保育所の待機児童ゼロ（政策2-6） こどもの個性・多様性を伸ばす学びの場の充実（政策3-1） ヤングケアラー※サポートの充実（政策3-2） |
| 若者 | 若者は次世代を担うパワーです。 若者が全力でやりたいことができるよう、若者の夢を応援し、希望を叶えることで、明るい明日につなげます。 次世代を担う活力として、若者の声を行政に反映し、ともにまちを創ります。 | <ul style="list-style-type: none"> 奨学金返済支援と市内定住の促進（政策3-3） 若者と共創するまちづくり（政策3-7） |
| 働く世代 | 働く大人は地域を支える原動力です。 ワークライフバランスの取れた経済的、時間的なゆとりを確保するとともに、仕事や家族、地域との生活に生きがいや楽しさを感じられるよう、働く世代をサポートします。 | <ul style="list-style-type: none"> ごみ出しの負担軽減と利便性向上（政策1-2） 産業基盤の整備（政策1-5,6,8） こども関係施設の利便性向上（政策2-1） 学校給食の一部無償化（政策2-2） おむつの回収とサブスク実施（政策2-3） 子育て世代への経済的支援（政策2-5） |
| シニア | 輝くシニアはまちの財産です。 培った知恵や知識、経験を地域に還元するとともに、シニアが住み慣れた地域で元気に過ごし、デジタル化などの新しい分野に対しても、学び続けられる環境を整え、生きがいをもって健康長寿に暮らせるよう支援します。 | <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の連携による利便性向上（政策1-3） eスポーツ※による健康増進・交流促進（政策3-4） シニアへのデジタル活用支援（政策3-5） 带状疱疹ワクチン接種の助成（政策3-5） |

※各政策番号は、後掲（P40～P48）の各政策の戦略プロジェクト（戦略政策に関する事務事業）番号に対応しています。

3 市長の戦略政策

市長の戦略政策の見方

【タイトル】

市長の戦略政策について政策番号と、政策名称を掲載しています。

【基本方針】

戦略政策に取り組むための基本方針を、以下の3点について掲載しています。

- ①現状・課題
- ②戦略政策での取り組み内容
- ③取り組みの結果実現される社会

政策 1 にぎわいと住みよさの向上
～ハードもソフトも快適で住みよさを実感できるまち～

住みよさ

基本方針

【現状・課題】
江南市は名古屋市ベッドタウンとして長年人口増加が続いていましたが、国全体の人口減少・少子高齢化が進む中、江南市においても人口の減少局面を迎えています。人口減少による人口密度の低下は、都市の生活を支える機能（医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業）の分散や縮小、行政コストの上昇の要因となり、結果として市の魅力の低下や行政サービスの低下につながっておそれがあります。

人口減少を見直し、都市のコンパクト化による効率的な生活機能の提供や、産業基盤の確保・育成による地域経済の維持・活性化を進めることにより、住み続けられる持続可能なまちづくりを進める必要があります。また、単に「住む」ためのまちではなく、「働く」、「学ぶ」、「楽しむ」など、市民の生活がより充実した「生活都市」としての魅力を高めるため、デジタル技術の積極的な活用や環境に配慮した生活を市全体に広げるとともに、誰もが目の生活スタイルにあわせて、充実した生活を送ることができる環境を整備していく必要があります。

【取り組み内容】
地域経済の基盤となる産業基盤の確保・育成に取り組むとともに、脱炭素社会の実現に向けた市民の取り組みが持続可能なまちづくりを支援し、デジタル技術などを積極的に活用することによる市民サービスの向上や、拠点施設や公共施設の整備にあわせ、まちの魅力向上を図ります。

| | | |
|-------------------|--|--|
| 産業基盤の確保・育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏内地区に新工業用地整備 ・ 市内産業の経営活性化 ・ 公共施設での出店支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ セロカーボンシティの実現 ・ 高齢化対策への取り組み支援 ・ LED化、次世代自動車の導入 ・ 資源ごみの分別区分の見直し |
| デジタル技術の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の利便性向上 ・ 市民窓口の役割緩和 ・ 行政事務の効率化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力あふれる拠点整備 ・ 公共施設の再配置推進 ・ 新ごみ処理施設西側エリア整備 |

これらの取り組みにより、従来のインフラ整備に加え、デジタル技術などの次世代技術を効果的に取り入れるとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けた環境に配慮した新たなまちづくりを進め、快適で住みよさを実感できるまちを実現します。

超小型電気自動車

戦略プロジェクト（中期戦略に関連する事務事業）

| No | 戦 略 政 策 | 事 務 事 業 （戦略プロジェクト） | 事 業 内 容 | 分野別計画での位置づけ | | |
|----|--------------------------------------|-----------------------|--|-------------|---|-----|
| | | | | 分野 | 柱 | 施策 |
| 1 | 新産業社会の実現に向けた「ゼロカーボンシティ」の構築 | 環境化禁止事業 | 環境化禁止に対する市民の意識向上を図るため、地球温暖化対策協議会の購入に対する補助を拡充する。 | I | 1 | ① |
| | | LED化事業 | 二酸化炭素削減を実現ゼロに向けて、公共施設内の照明のLED化改修工事を行う。 | | | 全分野 |
| | | 次世代自動車導入事業 | 二酸化炭素削減を実現ゼロに向けて、次世代自動車を導入する。 | | | 全分野 |
| 2 | リサイクルステーション構設とごみ収集方法の見直しによる、ごみ処しの効率化 | リサイクルステーション運営事業 | 市民に対してリサイクルステーションのさらなる活用を促し、回収品目の拡大や、市民側へのリサイクルステーションの整備を進める。 | I | 2 | ① |
| | | 分別ごみ収集調整事業 | 市民のごみ出しの負担軽減と利便性向上を図るため、資源ごみの分別区分の見直しを行う。 | I | 2 | ② |
| 3 | デジタル技術を活用した公共交通サービスの利便性向上 | 公共交通調整準備事業 | 市民における移動の利便性向上と地域課題の解決を図るため、デジタル技術を活用し、公共交通サービスを拡充する。 | I | 3 | ② |
| 4 | 市の中心部（旧市街）・布殿エリアの再開発整備の推進 | 交通拠点整備事業（市街地等） | 布殿駅周辺の道路や歩道など環境整備を行う。交通利便性を改善するとともに安心で安全なまちづくりを進める。 | I | 3 | ③ |
| | | 江岸駅前広場交通拠点整備計画調定事業 | 江岸駅前広場における人や自動車の交通の新たな流れにより交通利便性の向上を図るため、江岸駅前広場の現状を把握し、江岸駅前広場の交通拠点整備計画を決定する。 | I | 3 | ③ |
| | | 都市計画調整準備事業（江岸駅前） | 内容で安全な交通環境を確保するため、道路整備（歩道整備・車道改修）を行う。 | I | 3 | ④ |
| 5 | 市内産業の経営安定化による地域経済の活性化 | 創業支援事業 | 市内産業の経営安定化と地域経済の活性化を図るため、市内の中小企業の設備投資を支援するとともに、社会経済の変化に対処すべく事業者を応援する。 | III | 1 | ① |
| | | 企業経営改善推進事業 | 企業経営改善基本方針に基づき、企業の経営改善及び既存企業の定着を推進する。 | III | 1 | ② |
| | | 農業経営安定化事業 | 農業者の生活安定や農業の生産性の向上を図るため、農業者の経営改善収入保険料を助成するなど、農業者を支援する。 | III | 2 | ① |

【戦略プロジェクト】

戦略政策に関連する事務事業を戦略プロジェクトと位置づけ、以下の項目について掲載しています。

〔戦略政策〕 市長が実現をめざす政策

〔事務事業〕 戦略政策に関連する事務事業

〔事業内容〕 戦略プロジェクトの事業内容

〔分野別計画における位置づけ〕 分野別計画における位置づけを「分野、柱、施策」の番号で掲載

39

政策
1

にぎわいと住みよさの向上

～ハードもソフトも快適で住みよさを実感できるまち～

住みよさ



基本方針

【現状・課題】

江南市は名古屋市のベッドタウンとして長年人口の増加が続いていましたが、国全体の人口減少・少子高齢化が進む中、江南市においても人口の減少局面を迎えています。人口減少による人口密度の低下は、都市の生活を支える機能（医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業）の分散や縮小、行政コストの上昇の要因となり、結果として市の魅力の低下や行政サービスの低下につながるおそれがあります。

人口減少を見据え、都市のコンパクト化による効率的な生活機能の提供や、産業基盤の確保・育成による地域経済の維持・活性化を進めることにより、住み続けられる持続可能なまちづくりを進める必要があります。また、単に「住む」ためだけのまちではなく、「働く」、「学ぶ」、「楽しむ」など、市民の生活がより充実した「生活都市」としての魅力を高めるため、デジタル技術の積極的な活用や環境に配慮した生活を市全体に広げるとともに、誰もが自らの生活スタイルにあわせて、充実した生活を送ることができる環境を整備していく必要があります。

【取り組み内容】

地域経済の基盤となる産業基盤の確保・育成に取り組むとともに、脱炭素社会の実現に向けた市民の取り組みや持続可能なまちづくりを支援し、デジタル技術などを積極的に活用することによる市民サービスの向上や、拠点施設や公共施設の整備にあわせ、まちの魅力向上を図ります。

| | | | |
|------------|--|---------------|--|
| 産業基盤の確保・育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 曾本地区に新工業用地整備 ・ 市内産業の経営安定化 ・ 公共施設での出店支援 | ゼロカーボンシティ※の実現 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 温暖化対策への取り組み支援 ・ LED化、次世代自動車の導入 ・ 資源ごみの分別区分の見直し |
| デジタル技術の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通の利便性向上 ・ 市民窓口の混雑緩和 ・ 行政事務の効率化 | 魅力あふれる拠点整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の再配置推進 ・ 新ごみ処理施設西側エリア整備 |

これらの取り組みにより、従来のインフラ整備に加え、デジタル技術などの次世代技術を効果的に取り入れるとともに、ゼロカーボンシティの実現に向けた環境に配慮した新たなまちづくりを進め、快適で住みよさを実感できるまちを実現します。



超小型電気自動車

戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

| No | 戦 略 政 策 | 事 務 事 業 (戦略プロジェクト) | 事 業 内 容 | 分野別計画での 位 置 づ け | | |
|----|---|-----------------------|--|--------------------|---|----|
| | | | | 分野 | 柱 | 施策 |
| 1 | 脱炭素社会の実現 に向けた「ゼロカー ボンシティ江南」の推進 | 温暖化防止事業 | 温暖化防止に対する市民の意識向上を図るため、地球温暖化対策設備の購入に対する補助を拡充する。 | I | 1 | ① |
| | | LED化事業 | 二酸化炭素排出実質ゼロに向けて、公共施設内の照明のLED化改修工事を行う。 | 全分野 | | |
| | | 次世代自動車導入事業 | 二酸化炭素排出実質ゼロに向けて、次世代自動車を導入する。 | 全分野 | | |
| 2 | リサイクルステーション増設とごみ 収集方法の見直し による、ごみ出し の負担軽減 | リサイクルステーション運 営事業 | 市民に対してリサイクルステーションのさらなる周知を図り、回収品目の拡大や、市南部へのリサイクルステーションの整備を進める。 | I | 2 | ① |
| | | 分別ごみ収集運搬事業 | 市民のごみ出しの負担軽減と利便性向上を図るため、資源ごみの分別区分の見直しを行う。 | I | 2 | ② |
| 3 | デジタル技術を活用した公共交通サ ービスの利便性向 上 | 公共交通維持確保事業 | 市内における移動の利便性向上と地域課題の解決を図るため、デジタル技術を活用し、公共交通サービスを拡充する。 | I | 3 | ② |
| 4 | 市の中心拠点江南 駅・布袋駅エリア の都市基盤整備の 推進 | 交通結節点整備事業 (布袋駅東地区) | 布袋駅周辺の道路や雨水排水路などの基盤整備を行い、交通結節機能を改善するとともに安心で安全なまちづくりを進める。 | I | 3 | ③ |
| | | 江南駅周辺交通環境改善計 画策定事業 | 江南駅周辺における人や自動車交通の新たな流れにより交通渋滞の緩和を図るため、江南駅周辺の現状を把握した上で、江南駅周辺の交通環境改善計画を策定する。 | I | 3 | ③ |
| | | 都市計画道路整備事業 (江南通線) | 円滑で安全な交通環境を確保するため、道路整備（歩道設置・車道改築）を行う。 | I | 3 | ④ |
| 5 | 市内産業の経営安 定化による地域経 済の活性化 | 創業支援事業 | 市内産業の経営安定化と地域経済の活性化を図るため、市内の商工業者の設備投資を支援するとともに、社会経済の変化に対応すべく事業者を応援する。 | Ⅲ | 1 | ① |
| | | 企業誘致等推進事業 | 企業誘致等基本方針に基づき、企業の新規誘致及び既存企業の定着を推進する。 | Ⅲ | 1 | ④ |
| | | 農業者経営安定化事業 | 農業者の生産意欲や農業の生産性の向上を図るため、農業者の農業経営収入保険料を助成するなど、農業者を支援する。 | Ⅲ | 2 | ① |

第6次江南市総合計画 後期基本計画

| No | 戦略政策 | 事務事業 (戦略プロジェクト) | 事業内容 | 分野別計画での 位置づけ | | |
|----|--|--------------------|--|-----------------|---|----|
| | | | | 分野 | 柱 | 施策 |
| 6 | 曾本地区への新工業用地整備による雇用創出と自主財源 [※] の確保 | 曾本地区工業用地整備推進事業 | 市内のさらなる雇用創出と安定的な自主財源の確保を図るため、曾本地区において周辺道路の整備、埋蔵文化財の発掘調査など、工業用地の整備を推進する。 | Ⅲ | 1 | ④ |
| | | 新工業用地整備事業基金管理事業 | 市内に新たな工業用地を整備する経費の財源を確保するため、新工業用地整備事業基金の設置、管理を行う。 | Ⅲ | 1 | ④ |
| 7 | 「デジタル・スマート市役所」 [※] の推進 | 人事管理事業 | 庶務事務の効率化を図るとともに、職員の勤務状況を見える化するため、出退勤管理、時間外勤務や休暇の申請・決裁業務などを電子化する。 | V | 2 | ① |
| | | 情報システム管理運営事業 | 行政事務の効率化を図るため、AI-OCR [※] を県内市町村と共同で運用するとともに、会議録作成支援システムや生成AIを活用する。 | V | 2 | ③ |
| | | 住民基本台帳等事業 | 来庁する市民の負担軽減と窓口の混雑緩和を図るため、電子申請やキャッシュレス決済などによる「行かなくて済む市役所」、「書かない窓口」を推進する。 | V | 3 | ① |
| 8 | パブリックスペース [※] を活用した新ビジネスの支援と地域のにぎわい創出 | パブリックスペース活用事業 | 公共施設の駐車場や市有地などのパブリックスペースへのキッチンカーやマルシェなどの出店を支援することで、新たなビジネス機会を拡大するとともに、地域活性化の機会を創出する。 | V | 2 | ② |
| 9 | 新ごみ処理施設の西側エリアにレクリエーション施設を整備 | 特命事項推進事業 | 西側エリアの市民ニーズ・民間ニーズを的確に把握し、新たなレクリエーション施設を整備する。 | V | 2 | ② |
| 10 | 公共施設の再配置による魅力あふれる公共施設の整備 | 公共施設マネジメント推進事業 | 市民の安全確保と多様なニーズに対応するため、施設のリニューアルやコスト削減を図り、市民の安全確保と多様なニーズに対応するため、すいとびあ江南の存続検討や、老朽化が進む公共施設の再配置を計画的に進める。 | V | 5 | ② |
| | | 公共施設整備事業基金管理事業 | 公共施設の最適な利用及び配置を実現するため、将来の公共施設の改修・更新に係る財政負担が過大とならないよう、計画的に基金を積み立てる。 | V | 5 | ② |



布袋駅西駅前広場

政策 2 全世代への安心としあわせの提供
 ～こどもからシニアまですべての世代がしあわせを実感できるまち～

しあわせ



基本方針

【現状・課題】

少子高齢化が進む中、各世代がそれぞれに問題を抱えており、こどもや子育て世代では、経済的自立を図るための就労や育児が、自身や家族との余暇時間などを圧迫し、ワークライフバランスの実現に対する問題となっており、また、保育園や小中学校の老朽化や、学校以外のこどもの居場所となる学童保育所や児童館などの環境充実が課題となっています。

また、令和7年（2025年）には団塊の世代がすべて75歳以上となり、要介護者や認知症患者の増加が予測されるとともに、介護だけでなく障害なども複雑に絡み合った相談ケースなども増えてきており、従来の縦割りの福祉サービスでは対応が難しい状況が生じてきています。

一方、地域ではゲリラ豪雨などの異常気象による災害が頻発し、南海トラフ地震[※]への懸念も高まる中、日常生活においても、防犯や消防・救急体制の充実を求める声も大きくなってきています。安心して生活できるまちの実現に向け、各世代への支援や災害リスクなどを回避・軽減する仕組みづくりを進める必要があります。

【取り組み内容】

子育て支援の拡充により子育て世代の負担軽減を図るとともに、こどもの居場所となる様々なこども関係施設の充実に取り組み、生活にゆとりと楽しみを創出します。また、(仮称)多世代交流プラザの整備により、世代間交流や国際交流の拠点を作るとともに、重層的支援体制[※]の構築による地域で見守る地域福祉社会の実現に向けて取り組みます。さらに、地域防犯・地域防災の強化と消防拠点の適正配置を進め、安心して生活できるまちをめざします。

| | | | |
|--------------|--|------------|---|
| 子育て支援の拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ・おむつ回収、サブスク実施 ・学童保育所待機児童ゼロ推進 ・子育て世代への経済的支援 | こども関係施設の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・オーガニック給食の導入 ・多様な保育サービスの提供 ・こども関係施設の利便性向上 |
| 多世代交流・地域福祉社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流プラザの整備 ・重層的支援体制の整備 | 防犯・防災などの強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラの設置支援 ・自立型ソーラースタンド設置 ・北部消防拠点の形成 |

これらの取り組みにより、ライフステージに応じて、世代のニーズに寄り添った支援を展開するとともに、防犯や防災、消防・救急体制などの充実を図り、どの世代の市民も安心としあわせを実感できるまちを実現します。

戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

| No | 戦略政策 | 事務事業 (戦略プロジェクト) | 事業内容 | 分野別計画での 位置づけ | | |
|----|--------------------------------------|------------------------------|---|-----------------|---|----|
| | | | | 分野 | 柱 | 施策 |
| 1 | こども関係施設 (保育園・小中学校・学童保育所など)の利便性の向上 | 学校管理運営事業 | 児童・生徒の保護者の利便性向上を図るとともに、教職員の負担を軽減するため、緊急連絡などを行っているメール配信システムについて、出欠席の連絡機能を追加し、教職員が使用している校務支援システムと連携して一元管理ができるように更新する。 | Ⅱ | 1 | ③ |
| | | 認可保育所等整備促進事業 | 必要な保育量を確保し待機児童を減少させるとともに、多様な保育サービスを提供することで保護者の保育ニーズを充足させるため、認可保育所などを整備する事業者に対して補助を行う。 | Ⅱ | 5 | ① |
| | | 保育園保育等事業 | 保育園児の保護者の利便性向上を図るとともに、保育士の負担を軽減するため、園児情報、登降園記録、保護者連絡、指導案・日誌などの一元管理を行う保育管理システムを導入する。 | Ⅱ | 5 | ① |
| | | 放課後子ども総合プラン※ 事業（放課後子ども教室） | 利用児童の保護者の利便性向上を図るため、保護者からの出欠席の連絡、保護者への緊急連絡を行うメール配信システム用タブレット端末を各教室に配備する。 | Ⅱ | 5 | ③ |
| 2 | 学校給食費の一部無償化とオーガニック給食の提供 | 給食用物資購入事業 | 子育て世代の経済的負担軽減のため、学校給食費を一部無償化するとともに、アレルギー対応の充実やオーガニック食材を取り入れた給食の提供を通じて、食育の推進を図る。 | Ⅱ | 1 | ④ |
| 3 | 保育園でのおむつの回収とおむつのサブスクを実施 | 保育園保育等事業 | 保育園利用者の保護者と保育士の負担軽減を図るため、使用済みおむつの回収と民間事業者によるおむつの定額利用サービスを実施する。 | Ⅱ | 5 | ① |
| 4 | 公共施設の複合化による多世代多文化交流施設の整備 | 子育て支援施設整備等事業 | 世代間交流や多文化交流を育む交流施設を整備するため、老朽化した老人福祉センター及び中央コミュニティ・センターの建替えにあわせて、児童館などを複合化する。 | Ⅱ | 5 | ① |
| | | (仮称)多世代交流プラザ整備等事業 | | Ⅳ | 2 | ① |
| 5 | 子育て世代への経済的支援による出産・子育ての応援 | こども家庭センター※運営事業 | 子育て世代の経済的な負担軽減を図るため、すべての妊婦・子育て家庭を対象に、出産・育児に係る給付金を支給する。 | Ⅱ | 5 | ② |
| 6 | 学童保育所の待機児童ゼロに向けた体制整備と民間活力の活用 | 放課後子ども総合プラン事業（放課後児童健全育成） | 学童保育の待機解消に向け、人材派遣などにより人員を確保し、民間事業者の参入を促進することで、保護者が安心して子どもを預けられる環境を整備する。 | Ⅱ | 5 | ③ |
| 7 | 平時は環境にやさしく、有事には心強い自立型ソーラースタンドの設置 | 災害時対応事業 | 災害時対応の強化を図るため、ソーラーパネルから電気を蓄え、携帯電話の充電にも活用できる自立型ソーラースタンドを避難所に設置する。 | Ⅳ | 1 | ① |
| 8 | 消防体制の充実を図る北部拠点の形成と防災情報伝達の確実性の向上 | 防災行政無線整備等事業 | 市民の安心・安全を守るため、防災情報の迅速かつ確実な伝達手段を再構築する。 | Ⅳ | 1 | ① |
| | | 北部消防拠点形成事業 | 消防拠点の効率的・効果的な配置を図るため、北部地域の拠点形成を検討する。 | Ⅳ | 8 | ① |

| No | 戦 略 政 策 | 事 務 事 業 (戦略プロジェクト) | 事 業 内 容 | 分野別計画での 位 置 づ け | | |
|----|----------------------------------|-----------------------|--|--------------------|---|----|
| | | | | 分野 | 柱 | 施策 |
| 9 | 防犯カメラの設置 支援による安心・ 安全なまちの実現 | 防犯対策事業 | 犯罪の抑止及び地域の防犯力向上を図るため、 防犯カメラを設置する町内会などに対し、その 設置費用を補助する。 | Ⅳ | 1 | ② |
| 10 | 重層的支援体制※ の整備による地域 ふくしの推進 | 地域福祉活動推進事業 | 地域福祉社会の実現を図るため、地域住民の複 雑化・複合化したニーズに対応する包括的な支 援体制を構築する。 | Ⅳ | 2 | ① |



布袋北学童保育所

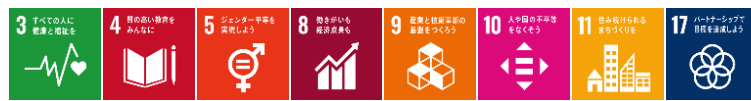


消防団車両



防犯カメラ

政策 3 **生きがいやコミュニティの創出**
 ～個人も団体もみんなが活躍できる生きがいを実感できるまち～



基本方針

【現状・課題】

誰もが自らの活動に生きがいを感じ、生涯にわたって輝き続けられる人生を送ることが望まれる中、社会的または経済的な様々な理由から、自らが望む生活を送ることができない状況に置かれた人たちがいます。

例えば、家事や家族の世話などを日常的に行うヤングケアラー[※]や、学校に行きたくても行けない不登校児童・生徒、奨学金の返済などによる経済的負担を抱える若者、他にも、定年退職後の生きがいづくりや健康に不安を抱えるシニア世代、ジェンダー[※]問題や心身障害により社会参画に抵抗を感じている方など様々です。

行政だけでなく、民間企業や市民との方との連携や協力を図り、誰もが活躍できる場や生きがいをもって生活できる社会を構築していく必要があります。

【取り組み内容】

困難な状況にある若者を、地域や社会が見守り寄り添う体制を構築し、次世代を支える若者の夢を応援するとともに、シニア世代の生涯にわたる生きがいづくりを支援するため、デジタルデバイド[※]の解消や健康長寿の取り組みを強化します。また、ライフスタイルや価値観の多様性が十分に尊重される社会を実現するため、パートナーシップ制度[※]の導入や障害者の社会参画を促進するとともに、若者の声を積極的に行政に反映していきます。さらに、SDGsによる官民連携[※]や自治会の事務負担軽減支援などに取り組み、さらなるパートナーシップの強化や持続可能な地域コミュニティの形成を進め、地域全体で地域課題の解決を図ります。

| | | | |
|-------------|--|--------------|--|
| 若者の夢をサポート | <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童対策の充実 ・ヤングケアラー支援 ・奨学金の返済支援 | シニア世代の健康長寿実現 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデバイドの解消 ・eスポーツ[※]の活用機会の拡大 ・带状疱疹ワクチン接種の助成 |
| 多様性のある社会の実現 | <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーシップ制度の実施 ・障害者の就労支援 ・若者の声を行政に反映 | SDGsによるまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs登録制度[※]による連携 ・自治会の事務負担の軽減 |

これらの取り組みにより、個々の多様性が尊重され、誰もが自らの活動や生きがいを見つけ、伸ばし、展開し、個々の活力をまちに還元できる仕組みづくりを進めることにより、市民の誰もが活躍できる生きがいを実感できるまちを実現します。

戦略プロジェクト（戦略政策に関連する事務事業）

| No | 戦略政策 | 事務事業 (戦略プロジェクト) | 事業内容 | 分野別計画での 位置づけ | | |
|----|--|----------------------|---|-----------------|---|----|
| | | | | 分野 | 柱 | 施策 |
| 1 | 学校に行きたい、自分らしく学びたい児童・生徒の個性や多様性を伸ばす学びの場の充実 | いじめ・不登校対策事業 | 教室に入れない児童の居場所づくりのため、校内教育支援センターを小学校に設置する。 | Ⅱ | 2 | ① |
| 2 | ヤングケアラーを1人にさせない地域で支える仕組みづくり | こども家庭センター※（児童福祉）運営事業 | ヤングケアラーを見過ごすことなく、こどもに寄り添った相談体制や、行政と地域などの連携体制を構築し、多面的な支援をする。 | Ⅱ | 5 | ② |
| 3 | 次世代を担う地域の活力、地元で働く若者の奨学金返済を支援 | 中小企業経営力強化事業 | 市内に定住し、働く若者を応援するため、奨学金の返済額の一部を助成し、若者の定住促進と地域企業の若者確保を支援する。 | Ⅲ | 1 | ① |
| 4 | eスポーツの活用機会の拡大 | 地域支援事業 | eスポーツを高齢者の介護予防や認知症予防、健康増進に活かすとともに、子どもや大人が一緒になって楽しめる交流機会を創出する。 | Ⅳ | 3 | ① |
| 5 | シニアへのデジタル活用支援や健康長寿促進による暮らしのサポート | 地域支援事業 | 輝くシニアとして楽しく健康に生活できるよう、デジタルデバインド（情報格差）の解消に向けて、高齢者向けスマホ教室などを開催する。 | Ⅳ | 3 | ① |
| | | 予防接種事業 | 経済的な負担軽減や健康の保持及び増進を図るため、带状疱疹ワクチン接種に要する費用の一部を助成する。 | Ⅳ | 7 | ② |
| 6 | 障害者への就労支援や生きがいの創出による社会参画の促進 | 自立支援給付事業 | 障害者支援アプリの活用や、農福連携などの新たな就労環境づくりなど、障害者もあきらめることなく、社会に参画し生きがいをもって生活できるよう、就労支援や生活サポートの充実を図る。 | Ⅳ | 4 | ① |
| 7 | 若者の社会参加を促進し活力あふれる地域社会の共創 | 市民活動推進事業 | 若者の声が届き、発想力・行動力が行政に反映される地域社会をともに創るため、18歳を迎え成人となる若者の社会参加の場をつくるとともに、市内の高校との連携を強化する。 | Ⅴ | 1 | ① |
| 8 | 担い手不足解消に向けた自治会の負担軽減 | 地域団体支援事業 | 自治会役員の事務負担の軽減を図り、将来の担い手となる若者の地域活動への参加を促すため、デジタル技術の活用や導入のサポートを行う。 | Ⅴ | 1 | ① |



第6次江南市総合計画 後期基本計画

| No | 戦略政策 | 事務事業 (戦略プロジェクト) | 事業内容 | 分野別計画での 位置づけ | | |
|----|---|--------------------|---|-----------------|---|----|
| | | | | 分野 | 柱 | 施策 |
| 9 | 誰一人取り残さない「SDGsでつながるまちづくり」による地域活性化 | SDGs推進事業 | SDGs登録制度 [※] を創設し、地域に貢献する市民や団体を応援するとともに、多様なパートナーが連携して、まちづくりに新たな価値を創出できるようSDGsの取り組みを推進する。 | V | 2 | ② |
| | | 第7次総合計画策定事業 | 第6次総合計画（平成30年度～令和9年度）の計画期間終了に伴い、「SDGsでつながるまちづくり」による持続可能なまちづくりを次世代につなぐため、第7次総合計画を策定する。 | V | 2 | ② |
| 10 | ジェンダー [※] 平等の実現による誰もが暮らしやすい社会の実現 | 男女共同参画推進事業 | ジェンダーにとらわれることなく誰もが活躍できる社会を実現するため、多様な性への理解促進を図り、パートナーシップ制度 [※] を導入する。 | V | 4 | ① |



SDGs週間（KONAN SDGs Week）



江南市男女共同参画市民フェスタ